

第Ⅳ部 調査票と単純集計結果

令和6年度(2024年)神奈川県『県民ニーズ調査』(第1回課題調査)

調査票

この調査は、県民の皆様のご意見や考えをお聴きし、今後の県の施策を検討する基礎資料とするものです。日ごろの考えを率直にお聴かせください。



神奈川県PR
キャラクター
かながわ
キンタロウ

【テーマ】

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 食の安全・安心 | 8 地域社会との関わり |
| 2 食・食育 | 9 地域コミュニティ |
| 3 かながわの農林水産業 | 10 子どもの貧困対策 |
| 4 2027年国際園芸博覧会 | 11 里親制度 |
| 5 スポーツ | 12 とともに生きる社会かながわ |
| 6 地震対策の取り組み | 13 かながわの広報 |
| 7 治安対策 | |

◆ 記入上の留意事項

- この調査のご回答は、**封筒のあて名のご本人様**にお願いいたします。
- この調査は無記名式です。お名前やご住所の**記入は不要**です。
- お答えは、直接、この調査票の**あてはまる番号を○**で囲んでください。
- ご記入いただく筆記用具の種類や色の指定はありません。
- 分かる質問だけお答えいただければ結構です。

ご記入いただいた調査票は、同封の**返送用封筒**に入れ、
10月1日(火)までにご投函ください。

(切手の貼り付け、お名前やご住所の記入は不要です)



※インターネットからでもご回答いただけます！
(左記二次元コードから回答画面へ)

インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

【お問い合わせ先】

神奈川県 政策局 政策部 情報公開広聴課 広聴グループ

○ お問い合わせフォーム



二次元コードから送信

※10月1日まで受付

○ 電話 (045)210-3672

※ 受付時間 月～金 8:30～17:15

(12:00～13:00を除く／土日祝日は閉庁)

1 食の安全・安心

問1 食品を購入する際に、確認している表示内容がありますか。(○はいくつでも) (n=1,263) (%)

1 期限表示(消費期限や賞味期限)	90.8	6 保存方法	41.3
2 原産地や原産国	73.5	7 遺伝子組換え食品に関する事項	24.2
3 アレルギー表示	12.0	8 その他	3.3
4 原材料名	36.8	9 確認している表示内容はない	1.1
5 食品添加物(保存料や着色料など)	36.3	(無回答)	3.3

問2 食中毒を予防する上で重要なことについて、知っていたことを選んでください。

(○はいくつでも) (n=1,263) (%)

1 食品を購入したら寄り道せずに帰宅する	51.7
2 食品を保存するときは、冷凍庫や冷蔵庫を活用する	92.2
3 調理や食事前によく手を洗う	82.7
4 生肉や生魚を扱った調理器具は、使用後に消毒する	62.0
5 調理した食品はすぐに食べるようにし、残った食品は速やかに適切な温度で保存する	79.7
6 生肉は、食中毒を起こす細菌がついていることがあるので、よく加熱する	78.2
7 どれも知らなかった	0.2
(無回答)	3.2

問3 調理や食事前によく手を洗う、生肉はよく加熱するなど、食品を安全に食べるために必要な知識を持っていると思いますか。(○は1つ) (n=1,263) (%)

1 持っていると思う	45.6	4 持っていないと思う	0.4
2 ある程度持っていると思う	43.9	5 分からない	0.8
3 あまり持っていないと思う	5.5	(無回答)	3.8

2 食・食育

問4 「食育」※に関心がありますか。(○は1つ) (n=1,263) (%)

1 関心がある	30.5	4 関心がない	3.6
2 どちらかといえば関心がある	41.3	5 分からない	5.4
3 どちらかといえば関心がない	15.4	(無回答)	3.7

※ **食育**とは、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることをいいます。

問5 いただきます・ごちそうさまのあいさつ、はしの持ち方、料理の並べ方など、食事のマナーを正しくできていると思いますか。(○は1つ) (n=1,263) (%)

1 できていると思う	31.1	4 できていないと思う	5.0
2 どちらかといえばできていると思う	48.5	5 分からない	2.0
3 どちらかといえばできていないと思う	10.0	(無回答)	3.4

問6 ゆっくりよく噛んで食べていますか。 (○は1つ) (n=1,263) (%)

1 食べている	15.9	4 食べていない	9.6
2 どちらかといえば食べている	38.5	5 分からない	1.0
3 どちらかといえば食べていない	31.7	(無回答 3.3)	

問7 食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけていますか。

(○は1つ) (n=1,263) (%)

1 気をつけている	43.1	4 気をつけていない	1.0
2 ある程度気をつけている	47.5	5 分からない	0.8
3 あまり気をつけていない	4.3	(無回答 3.3)	

問8 歯と口の健康を保つために、かかりつけ歯科医を決めていますか。 (○は1つ) (n=1,263) (%)

1 決めている	73.3	3 分からない	0.8
2 決めていない	21.8	(無回答 4.1)	

【複数人でお住まいの方のみお答えください】

問9 朝食・夕食を同居の方と一緒に食べていますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

【朝食】

(n=978) (%)

1 ほとんど毎日	44.2	3 週に2～3日	12.2	5 ほとんど食べない	27.4
2 週に4～5日	5.0	4 週に1日程度	7.2	(無回答 4.1)	

【夕食】

(n=978) (%)

1 ほとんど毎日	60.0	3 週に2～3日	13.8	5 ほとんど食べない	8.0
2 週に4～5日	9.7	4 週に1日程度	4.3	(無回答 4.2)	

【一人暮らしの方のみお答えください】

問10 昼食・夕食を仲間や友人など、複数と一緒に食べていますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

【昼食】

(n=197) (%)

1 ほとんど毎日	6.1	3 週に2～3日	7.1	5 ほとんど食べない	61.9
2 週に4～5日	9.1	4 週に1日程度	12.7	(無回答 3.0)	

【夕食】

(n=197) (%)

1 ほとんど毎日	1.5	3 週に2～3日	4.6	5 ほとんど食べない	71.6
2 週に4～5日	2.5	4 週に1日程度	16.8	(無回答 3.0)	

3 かながわの農林水産業

問 11 県の農業に特にどのような役割を期待しますか。 (○は1つ) (n=1,263) (%)

1 食料の安定供給	26.8	6 美しい風景や文化の継承	2.1
2 安全・安心な食料の供給	37.3	7 働く場の提供	0.5
3 価格の安い食料の供給	8.6	8 その他	0.2
4 災害時の避難場所など安全な空間の提供	3.0	9 分からない	2.2
5 自然や土とふれあう場・学習の場の提供	2.4	(無回答 16.8)	

問 12 県内の農林水産業を活性化する上で、「地産地消」※の取組みを重要だと思いますか。

(○は1つ) (n=1,263) (%)

1 重要だと思う	56.1	4 重要だと思わない	1.9
2 どちらかといえば重要だと思う	32.9	5 分からない	4.6
3 どちらかといえば重要だと思わない	2.6	(無回答 2.0)	

※ 地産地消とは、地域の需要に即した生産を行い、その産物を地域で消費するための取組みのことをいいます。

問 13 「かながわブランド」※という言葉の意味について知っていますか。(○は1つ) (n=1,263) (%)

1 知っている	24.4	3 知らなかった	26.4
2 言葉は聞いたことがある	47.3	(無回答 1.8)	

※ かながわブランドとは、県と生産者団体が構成する「かながわブランド振興協議会」が登録する、組織的な生産・出荷基準によって品質を確保するなどの要件を満たした農林水産物やその加工品のことをいいます。

問 14 環境に配慮した農林水産物や食品※を選ぶよう心掛けていますか。(○は1つ) (n=1,263) (%)

1 心掛けています	14.1	4 心掛けていない	14.3
2 どちらかといえば心掛けています	42.3	5 分からない	8.2
3 どちらかといえば心掛けていない	19.1	(無回答 2.0)	

※ 環境に配慮した農林水産物や食品とは、近隣の地域で生産されたものや、有機JASマークなど環境への配慮に関する表示のあるもの、過剰包装ではないものなどのことをいいます。

4 2027年国際園芸博覧会

問 15 2027 年 3 月から 9 月に横浜市で「国際園芸博覧会（正式略称：GREEN×EXPO 2027※）」が開催されることを知っていますか。（○は 1 つ）（n=1, 263）（%）

1 知っている	23.0	3 知らなかった	63.8
2 言葉は聞いたことがある	11.0	（無回答 2.1）	

※ GREEN×EXPO 2027 とは、横浜市で開催される、1 都 3 県初の万国博覧会のことをいいます。日本での最上位クラスの国際園芸博覧会の開催は 1990 年「大阪花の万博」以来 37 年ぶり 2 回目となります。

【問 15 で 1、2 を選んだ方へ】

問 15-1 GREEN×EXPO 2027 を知ったきっかけは何ですか。（○はいくつでも）（n=430）（%）

1 チラシ・パンフレット	24.7	7 イベント	5.6
2 ポスター・看板・横断幕など	49.5	8 植物園・公園など	10.0
3 SNS（X（Twitter）、Facebook、Instagram など）	5.6	9 家族や知人などから聞いた	9.5
4 ウェブサイト（ホームページなど）	7.2	10 その他	4.7
5 広報誌（県のたよりなど）	35.6	11 分からない、覚えていない	1.9
6 テレビ・ラジオ	13.0	（無回答 0.2）	

【全員の方がお答えください】

問 16 GREEN×EXPO 2027 に何を期待しますか。（○は 3 つまで）（n=1, 263）（%）

1 世界中から集まった植物が見られること	32.8	6 生物多様性や脱炭素の取組みについての展示	18.9
2 農地や里山など日本の昔ながらの風景	21.9	7 仮想現実※やロボットなど最新技術の展示	4.1
3 農業や花だん作りなどの体験企画への参加	12.4	8 ボランティア参加	1.6
4 地元でとれた産物や食を楽しむ市場	47.9	9 その他	1.1
5 花と緑あふれる庭などの展示	30.5	10 特にない	20.9
（無回答 5.0）			

※ 仮想現実とは、コンピューターの中に作られた仮想的な世界を、あたかも現実のように体験できる技術のことをいいます。

問 17 GREEN×EXPO 2027 と一緒に楽しみたい観光のテーマは何ですか。

（○は 3 つまで）（n=1, 263）（%）

1 食事	60.2	5 ものづくりやアウトドアなどの各種体験	25.7
2 温泉	21.1	6 その他	0.8
3 GREEN×EXPO 2027 会場以外の 花のスポット鑑賞	24.5	7 特にない	21.8
4 名所・旧跡めぐり	26.5	（無回答 3.5）	

5 スポーツ

問 18 体力に自信はありますか。 (○は1つ) (n=1,263) (%)

1 ある	9.0	3 どちらかといえばない	32.8	5 分からない	5.8
2 どちらかといえばある	31.6	4 ない	16.5	(無回答 4.4)	

問 19 この1年間で1日に30分以上の運動やスポーツ※をした日数はどのくらいになりますか。

(○は1つ) (n=1,263) (%)

1 週に5日以上	14.3	6 3か月に1～2日程度	4.8
2 週に3日程度	15.1	7 年に1～3日程度	6.6
3 週に2日程度	13.4	8 まったく行わない	15.5
4 週に1日程度	12.0	9 分からない	2.8
5 月に1～3日程度	11.4	(無回答 4.0)	

※ 1回10分程度の運動やスポーツを合計して30分でも構いません。また、レクリエーションとして行う身体活動やウォーキングなどの軽度の運動も含まれます。

問 20 スポーツ推進に係る取組みについて、知っているものを選んでください。

(○はいくつでも) (n=1,263) (%)

1 3033 (サンマルサンサン) 運動 (※1)	4.7	3 どれも知らなかった	82.2
2 総合型地域スポーツクラブ (※2)	9.7	(無回答 4.4)	

※1 **3033 (サンマルサンサン) 運動**とは、運動やスポーツを1日30分、週3回、3か月間継続して行い、くらしの一部として習慣化する取組みのことをいいます。

※2 **総合型地域スポーツクラブ**とは、地域住民によって自主的・主体的に運営され、子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)スポーツクラブのことをいいます。

問 21 「かながわパラスポーツ」※について知っていますか。 (○は1つ) (n=1,263) (%)

1 知っている	4.4	3 知らなかった	75.9
2 言葉は聞いたことがある	15.6	(無回答 4.1)	

※ **かながわパラスポーツ**とは、すべての人が自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする、観る、支えることをいいます。

6 地震対策の取組み

問 22 家では、大きな地震に備えて、どのような対策をとっていますか。

(○はいくつでも) (n=1, 263) (%)

1 持出品の準備や食料などの備蓄	67.2	6 防災訓練に積極的に参加	6.7
2 住まいの耐震化	15.4	7 感震ブレーカー※などの設置	6.7
3 家具・家電などの固定	35.2	8 消火器の設置	23.1
4 避難場所や避難経路の確認	42.0	9 その他	0.9
5 家族と連絡方法の確認	36.6	10 特に対策はとっていない	8.9
(無回答 4.1)			

県では、首都直下地震や南海トラフ地震、県西部地震の発生の切迫性が指摘されるなど、大規模地震に対する備えが重要な課題となっています。

※ 感震ブレーカーとは、揺れを感知して電気を止める器具のことをいいます。

問 23 海岸や海岸近くで、地震による強い揺れや長い時間の揺れを感じたら、どのように行動しますか。

(○は1つ) (n=1, 263) (%)

1 すぐに海岸から避難する(5分以内)	88.8	3 津波が迫ってから避難する	0.6
2 用事を終えてから避難する(15分以内)	1.7	4 分からない	3.8
(無回答 5.1)			

問 24 津波について、知っていたことを選んでください。

(○はいくつでも) (n=1, 263) (%)

1 小さな揺れでも大きな津波になることがある	67.1	6 遠い所ではなく高い所に逃げる必要がある	78.4
2 津波の伝わる速さは非常に速く、早ければ		7 津波フラッグ(※3)が出ることもある	11.9
地震発生後数分で到達する(※1)	78.3	8 放送で津波を知らせることがある	53.0
3 津波は、繰り返し襲ってくる	79.6	9 「津波防災地域づくりに関する法律」がある	3.9
4 「津波避難ビル」に指定の建物がある	28.7	10 どれも知らなかった	0.4
5 津波に関するマップ(※2)がある	39.5	(無回答 4.3)	

※1 津波は海が深いほど速く伝わり、沖合いではジェット機と同様の速さで伝わります。

※2 津波に関するマップとは、津波の浸水範囲や避難情報などが記載されている、津波浸水予測図マップや津波ハザードマップなどのことをいいます。

※3 津波フラッグとは、津波警報・注意報などが発表された際、避難を呼びかけるために海岸に出される赤と白の格子模様の旗のことをいいます。

問 25 津波に対する防災・減災の観点から、実施が望まれるものはありますか。

(○はいくつでも) (n=1, 263) (%)

1 「津波災害警戒区域」(※1)の指定	53.0	4 その他	2.7
2 「津波災害特別警戒区域」(※2)の指定	45.6	5 特にない	7.0
3 「推進計画」(※3)の策定	32.3	6 分からない	21.9
(無回答 5.6)			

※1 津波災害警戒区域とは、津波発生時に住民などに危害が生じる恐れがある区域のことをいいます。

※2 津波災害特別警戒区域とは、津波災害警戒区域のうち、住民などに著しい危害が生じる恐れがある区域のことをいいます。

※3 推進計画とは、津波防災地域づくりを推進するために市町村が作成する計画のことをいいます。

7 治安対策

問 26 不安を感じる身近な犯罪は何ですか。 (○はいくつでも) (n=1,263) (%)

1 ひったくり	36.2	7 暴行や傷害	39.7
2 特殊詐欺	60.6	8 自転車や自動車などの乗り物の盗難	35.7
3 空き巣	58.5	9 インターネットを利用した犯罪※	67.1
4 子どもの誘拐や子どもへのいたづら	38.4	10 大麻や覚醒剤などの薬物犯罪	15.1
5 痴漢や不同意わいせつなどの性犯罪	34.1	11 その他	2.7
6 ストーカー行為	23.0	12 特にない	2.1
(無回答 1.0)			

※ インターネットを利用した犯罪とは、コンピューターへの不正アクセス、詐欺、ネットポルノ、児童買春などのことをいいます。

問 27 地域犯罪発生情報や防犯に役立つ情報について、得やすいのはどのような方法ですか。

(○はいくつでも) (n=1,263) (%)

1 テレビ	70.2	8 警察からのインターネットでの情報発信※	32.5
2 ラジオ	18.8	9 警察からのメール	14.0
3 新聞	23.8	10 警察官の防犯講話・防犯教室	3.6
4 ポスター・チラシなど	24.8	11 警察官の戸別訪問	8.1
5 回覧板	31.4	12 その他	5.2
6 防災無線	24.9	13 特にない	2.2
7 駅前などでのキャンペーン	12.3	(無回答 1.3)	

※ 警察からのインターネットでの情報発信とは、警察のホームページ、X (Twitter)、「Yahoo! 防災速報」、神奈川県警察公式 YouTube などのことをいいます。

問 28 犯罪や交通事故がなく、より安心してくらすために重要だと思うものは何ですか。

(○は3つまで) (n=1,263) (%)

1 防犯カメラなどの防犯設備の整備	72.0
2 地域住民同士のつながり	33.7
3 県民や企業と行政が一体となって行う防犯・交通安全活動	15.0
4 防犯、交通安全などの規範意識を高める教育	22.4
5 ボランティアなどによる防犯・交通安全活動	5.3
6 信号機、道路標識などの交通安全施設の整備	24.2
7 交通指導取締りの強化や交通違反などの厳罰化	19.8
8 制服警察官、パトカーによる警戒・検問活動	30.5
9 運転に不安を覚える方への安全運転相談	11.1
10 その他	3.1
11 特にない	1.0
(無回答 8.2)	

8 地域社会との関わり

問 29 長い人生を充実させるため、コミュニティなど、地域社会との関わりを大切にしていますか。
(○は1つ) (n=1,263) (%)

1	そう思う	66.3	2	そう思わない	31.0	(無回答 2.8)
---	------	------	---	--------	------	-----------

9 地域コミュニティ

問 30 新型コロナウイルス感染症が5類感染症(※1)へ移行した現在、地域住民とのコミュニティにおける主なコミュニケーション手段は何ですか。
(○は1つ) (n=1,263) (%)

1	対面でのやりとり	52.4	5	手紙やはがき	1.1
2	電話での通話	5.4	6	その他	1.3
3	顔が見えるテレビ電話・ビデオ通話	2.4	7	分からない	17.3
4	電子メールやLINEなどでのチャット（※2）	14.8	(無回答 5.4)		

※1 5類感染症とは、感染症法が定める感染症の5類型のうちの1つで、国が発生動向の調査を行い、必要な情報を提供することにより発生・まん延を防止すべき感染症のことをいいます。

※2 チャットとは、インターネットを介して文字などを送信してリアルタイムに会話するしくみのことをいいます。

【問 30 で2～6を選んだ方へ】

問 30-1 このようなコミュニケーションは取りやすいと思いますか。(○は1つ) (n=315) (%)

1	そう思う	32.7	4	どちらかといえばそう思わない	5.1
2	どちらかといえばそう思う	38.4	5	そう思わない	2.9
3	どちらともいえない	11.1	6	分からない	2.5
					(無回答 7.3)

【問 30-1 で1、2を選んだ方へ】

問 30-1-1 その理由は何ですか。(○はいくつでも) (n=224) (%)

1	表情を気にしなくてよい	18.8	5	気軽に連絡しやすい	76.3
2	普段できないような話がしやすい	9.8	6	会いに行かなくてよい	36.2
3	自分の思いや考えを伝えやすい	26.3	7	その他	4.5
4	相手の思いや考えが伝わりやすい	12.9	8	分からない	0.4
					(無回答 3.1)

【問 30-1 で4、5を選んだ方へ】

問 30-1-2 その理由は何ですか。(○はいくつでも) (n=25) (%)

1	相手の表情が分かりにくい	28.0	5	気軽に連絡しにくい	52.0
2	必要最小限の話だけになりやすい	44.0	6	その他	16.0
3	自分の思いや考えを伝えにくい	24.0	7	分からない	—
4	相手の思いや考えが伝わりにくい	16.0	(無回答 4.0)		

10 子どもの貧困対策

問 31 「子どもの貧困」※という言葉の意味を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,263) (%)

1 知っている	71.4	3 知らなかった	6.6
2 意味は知らないが言葉は聞いたことがある	19.9	(無回答 2.1)	

※ **子どもの貧困**とは、17歳以下の子どもが平均的な生活水準の半分以下の世帯でくらしている状態のことをいいます。

問 32 現在、近所や職場、親戚などの身近に、経済的に苦しく行政などによる支援※が必要な17歳以下の子どもはいると思いますか。 (○は1つ) (n=1,263) (%)

1 いると思う	19.2	3 分からない	43.9
2 いないと思う	34.9	(無回答 2.1)	

※ **行政などによる支援**とは、経済的な支援のほか、相談支援や就労の支援などのことをいいます。

問 33 貧困などの困難な環境にある子どもを地域で支援する活動※について、どのように考えていますか。 (○は1つ) (n=1,263) (%)

1 すでに活動や協力をしている、またはする予定である	2.5
2 一緒に活動したい、または協力したい	5.9
3 活動に興味を持っている	24.5
4 活動することや協力することは難しい	20.0
5 これから考えたい	24.5
6 関心がない	5.1
7 その他	1.5
8 分からない	12.5
(無回答 3.5)	

※ **地域で支援する活動**とは、食事や学習の支援、居場所の提供などのことをいいます。

11 里親制度

問 34 里親制度について知っていることを選んでください。(〇はいくつでも) (n=1,263) (%)

1 他人の子どもを家庭で育てる制度である	81.6	5 短期間だけ子どもを預かる里親もある	19.4
2 養子縁組とは異なる制度である	39.7	6 子どもの生活費などが支給される	9.7
3 共働きでも里親になれる	12.7	7 子どもが実の親のもとに帰る場合もある	17.3
4 里親になるには研修を受ける必要がある	26.0	8 どれも知らなかった	13.1

(無回答 2.6)

問 35 里親になってみたいと思いますか。(〇は1つ) (n=1,263) (%)

1 そう思う	1.3	4 どちらかといえばそう思わない	13.1
2 どちらかといえばそう思う	4.4	5 そう思わない	49.0
3 どちらともいえない	17.3	6 分からない	11.6

(無回答 3.4)

12 とともに生きる社会かながわ

問 36 共生社会(とともに生きる社会)※という考え方を知っていますか。(〇は1つ) (n=1,263) (%)

1 知っている	25.7	3 知らなかった	33.5
2 言葉は聞いたことがある	38.3		

(無回答 2.5)

※ 共生社会(とともに生きる社会)とは、障がいの状態や程度にかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いに尊重し、支え合ってくらすことを目指す社会のことをいいます。

問 37 「とともに生きる社会かながわ憲章」を知っていますか。(〇は1つ) (n=1,263) (%)

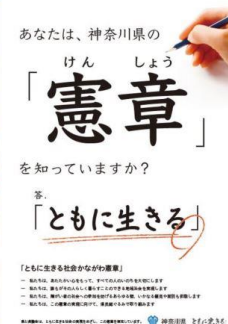
1 知っている	6.3	3 知らなかった	68.6
2 言葉は聞いたことがある	22.7		

(無回答 2.4)

県では、とともに生きる社会かながわの実現をめざし、2016年10月に「とともに生きる社会かながわ憲章」を定めました。

とともに生きる社会かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます



問 38 障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だという考え方について、どう思いますか。 (○は1つ) (n=1,263) (%)

1	そう思う	58.6	3	どちらかといえばそう思わない	6.2
2	どちらかといえばそう思う	28.5	4	そう思わない	3.0
					(無回答 3.7)

問 39 5年前と比べて障がい者に配慮した行動をとる人が増えたと思いますか。

(○は1つ) (n=1,263) (%)

1	増えたと思う	15.3	4	どちらかといえば増えていないと思う	4.4
2	どちらかといえば増えたと思う	31.0	5	増えていないと思う	7.0
3	どちらともいえない	25.4	6	分からない	13.5
					(無回答 3.2)

問 40 障がい者に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。

(○は1つ) (n=1,263) (%)

1	あると思う	38.5	4	ないと思う	3.1
2	少しはあると思う	40.8	5	分からない	5.5
3	あまりないと思う	8.8			
					(無回答 3.3)

問 41 「ヘルプマーク」を知っていますか。

(○は1つ) (n=1,263) (%)

1	知っている	65.2	
2	マークを見聞きしたことはあるが、意味は知らなかった	10.5	
3	知らなかった	21.1	(無回答 3.2)



ヘルプマークとは、外見から分からなくても援助や配慮を必要とする方が援助を得やすくなるよう、東京都が考案したマークのことをいいます。県でもその目的に賛同し、普及・啓発を進めています。マークの実際の背景色は赤色です。

詳細は、下記HPをご覧ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/cnt/f536306>

問 42 手話やろう者についての理解を深めるために、手話を学ぶとしたら、最も学びたい方法はどれですか。 (○は1つ) (n=1,263) (%)

1	手話講習会	31.0	6	学校教育	5.2
2	手話サークル	10.1	7	その他	0.5
3	インターネット	18.7	8	学びたいとは思わない	8.9
4	本・DVD	2.9	9	分からない	10.0
5	テレビ番組	6.8			
					(無回答 5.9)

13 かながわの広報

問 43 県は、災害や感染症対策などの取組み、イベントの実施など県政情報を伝えていると思いますか。
(○は1つ) (n=1,263) (%)

1 伝えている	14.6	4 伝えていない	5.7
2 どちらかといえば伝えている	37.0	5 分からない	25.2
3 どちらかといえば伝えていない	13.9	(無回答 3.6)	

問 44 県が県政情報を伝えている広報媒体について、知っているものを選んでください。
(○はいくつでも) (n=1,263) (%)

1 県の広報紙「県のたより」	66.0	
2 県の公式 YouTube チャンネル「かなチャン TV」	4.8	
3 県の広報テレビ番組 (tvk「カナフル TV」)	12.3	
4 県の広報ラジオ番組 (FM ヨコハマ「KANAGAWA Muffin」)	8.5	
5 県のホームページ	28.3	
6 県のソーシャルメディア※	7.1	
7 県が発行する冊子・パンフレット・チラシなど	16.9	
8 新聞での紙面広報	11.7	
9 フリーペーパー	4.6	
10 どれも知らなかった	16.9	(無回答 3.6)

※ ソーシャルメディアとは、例えばX (Twitter)、Facebook、Instagram などがあります。

問 45 県政情報をどこから入手していますか。
(○はいくつでも) (n=1,263) (%)

1 県の広報紙「県のたより」	58.3	
2 県の公式 YouTube チャンネル「かなチャン TV」	2.6	
3 県の広報テレビ番組 (tvk「カナフル TV」)	6.8	
4 県の広報ラジオ番組 (FM ヨコハマ「KANAGAWA Muffin」)	4.9	
5 県のホームページ	15.3	
6 県のソーシャルメディア	5.1	
7 県が発行する冊子・パンフレット・チラシなど	11.8	
8 新聞での紙面広報	10.7	
9 フリーペーパー	3.0	
10 どこからも入手していない	23.4	(無回答 3.6)

…*…

最後に、集計結果を分析するために必要な項目についてお聞きします。（個人を特定するものではありません。）

F 1 お住まいの地域はどちらですか。 (n=1, 263) (%)

1	横浜（横浜市）	37.4
2	川崎（川崎市）	13.6
3	相模原（相模原市）	7.0
4	横須賀三浦（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）	9.4
5	県央（厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村）	7.8
6	湘南（平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町）	15.0
7	県西（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町）	3.2
		（無回答 6.4）

F 2 差し支えなければ、あなたの性別をお聞かせください。 (n=1, 263) (%)

1	男性	40.9	2	女性	51.1	（無回答 8.0）
---	----	------	---	----	------	-----------

F 3 あなたの年齢は、おいくつですか。（2024年9月1日現在） (n=1, 263) (%)

1	18～19歳	0.2	5	35～39歳	5.5	9	55～59歳	11.9	13	75～79歳	6.9
2	20～24歳	1.3	6	40～44歳	7.1	10	60～64歳	10.2	14	80歳以上	4.0
3	25～29歳	3.4	7	45～49歳	10.1	11	65～69歳	7.8			
4	30～34歳	4.4	8	50～54歳	11.3	12	70～74歳	9.3			(無回答 6.6)

F 4 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。あてはまるものをすべて選んでください。（同居、別居は問いません。） (n=1, 263) (%)

1	小学校入学前	6.9	5	短大、専門学校等在学中	1.4	9	その他	2.9
2	小学校在学中	9.6	6	大学、大学院等在学中	7.6	10	子どもはいない	28.6
3	中学校在学中	6.3	7	学校教育終了〔未婚〕	21.6			
4	高校在学中	8.1	8	学校教育終了〔既婚〕	23.0			
								（無回答 7.7）

F 5 現在のお宅の家族形態は、次のどれにあたりますか。 (n=1, 263) (%)

1	一人暮らし（単身世帯）	15.6	4	祖父母と親と子の世帯（3世代世帯）	3.1
2	夫婦のみ（1世代世帯）	24.9	5	その他の世帯	4.4
3	親と子の世帯（2世代世帯）	45.1			
					（無回答 7.0）

F 6 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。1～9の中から1つ選んでください。
また、1～5を選んだ方は、右のア～ケの中から1つ選んでください。

(n=1, 263) (%)

(n=762) (%)

1 自営業主 6.0	ア～ウから 1つ選んで ください。	ア 農林水産業 0.7
2 家族従業者 (家業手伝い) 0.7		イ 商工サービス業(各種商店、飲食店、工事店などの経営) 5.2
3 勤め (フルタイム) 38.8	エ～ケから 1つ選んで ください。	ウ 自由業(開業医、弁護士、茶華道師匠、芸術家など) 4.7
4 勤め (パートタイム) 14.6		エ 経営・管理職(会社等の部長級、官公庁の課長級以上) 7.1
5 内職 0.2		オ 専門・技術職(研究員、技術者、勤務医、看護師など) 23.4
6 主婦・主夫(勤めていない) 14.7		カ 事務職(事務系会社員・公務員、警察官、駅員など) 22.4
7 学生 0.7		キ 教育職(教諭、保育士など) 7.3
8 無職 14.8		ク 技能・労務職(工場の生産工程従事者、運転士など) 8.7
9 その他 0.5		ケ 販売・サービス職(商店、サービス業などの従業員) 16.7
(無回答 8.9)		(無回答 3.8)

質問は以上です。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返送用封筒で、10月1日(火)までにご投函ください。(切手は不要です。)

なお、インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

今回の調査でお伺いしたテーマについて、ご意見やご提案がありましたら、お書きください。

ご意見やご提案を希望するテーマの番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 食の安全・安心 | 8 地域社会との関わり |
| 2 食・食育 | 9 地域コミュニティ |
| 3 かながわの農林水産業 | 10 子どもの貧困対策 |
| 4 2027年国際園芸博覧会 | 11 里親制度 |
| 5 スポーツ | 12 とともに生きる社会かながわ |
| 6 地震対策の取組み | 13 かながわの広報 |
| 7 治安対策 | |

下記にその内容をご記載ください。

208人(16.5%)から自由意見が寄せられました。

